

事業所名

いるか

支援プログラム(参考様式)

作成日

令和6 年

12 月

1 日

法人(事業所)理念		2歳～5歳という人間形成の基盤を養う最も重要な時期に「療育」という専門性をもった指導員や保育士が関わりを持つことで、子ども達の「生きる力」を育てたいと考えます。どんな子どもでも生きやすい社会作り、そして本来持っている子どもの力を最大限に引き出せる療育を行います。							
支援方針		安心安全な環境のもと、遊びの中で必要な力を身に付けられるよう、「楽しんで取り組める療育」を心がけています。個々の特性に応じた力を把握し、信頼関係の中でその力を引き出していきます。保護者との情報共有や相談援助、関係機関連携にも重視し、その子を取り巻く環境を様々な視点から支援します。							
営業時間		平日	9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	食事、衣類の着脱、排泄など身の回りの生活に必要な基本的な習慣を習得できるよう個々のペースに合わせて支援します。また、日々の体調や機嫌の変化に気づけるよう細やかな観察を行う中で、個々の発達にペースに合わせてできる事一つずつ増やす関わりを行い、「自分でできた」の体験を大切にしながらサポートします。							
	運動・感覚	トランポリンや平均台、公園の遊具などを使って運動機能の向上、身体動作のコントロールを行っていきます。ビジョントレーニング、指先トレーニング、体幹トレーニング、感触遊び、感覚運動遊びなどを通して、視覚や聴覚、触覚などを十分に活用できるしていきます。							
	認知・行動	音楽やリズムを使って五感を刺激するリトミックや想像力を高めていく製作活動を行っています。数の概念や大小、色の区別なども歌や絵本、パズルなどの玩具を使って遊びの中で習得できるよう支援していきます。また望ましい行動が増える認知行動療法を行い、自己肯定感を高める支援を行います。							
	言語 コミュニケーション	言葉が出るまでの土台作りで人との信頼関係を大切に、関係を構築出来たうえで言葉の習得、自発的な発声を促していきます。子どもの気持ちに寄り添いながら代弁したり、個々に合わせたコミュニケーションの取り方を工夫しています。人とのコミュニケーションが「楽しい」「安心できる」「伝えたい」という本人の気持ちが出しやすくなる関係作りや環境作りに配慮しています。							
	人間関係 社会性	遊びを通して人の動きを模倣したり、見立て遊び、ごっこ遊びなどの中で対人関係の芽生えを支援します。また周囲の人との安定した関係を形成する為の環境設定や関わりを大切にしています。集団への参加を促しながら、遊びの中でルールや順番、交代、勝敗などを楽しく身に付けていけるような活動を提供しています。							
家族支援		保護者様が感じる発達に関する悩みや育児への不安など、大小関わらず様々な悩みに寄り添い、手立てや関わり方などのアドバイスを行っています。また子どもの成長や悩みを保護者様と共有し、1人で悩むことのないよう支援しています。			移行支援		幼稚園や保育園、他の福祉施設などと連携を図り、援助方針や支援内容の共有を行っています。また、就学児には就学先の学校とも連携を図りながら、本人への負担がかからずスムーズな移行ができるよう途切れのない支援を目指します。		
地域支援・地域連携		イベントの参画や地域での取り組みに協力し、地域との繋がりを通して事業所の事を知ってもらう機会を作ったり、連携が取りやすい体制作りを心がけています。			職員の質の向上		所内研修だけでなく外部の研修にも積極的に参加し、職員全員の支援力の向上を図っています。また指導員の中でも全員が同じ目標に向かって支援を行えるよう共通理解を図っています。		
主な行事等		調理実習・ピクニック・クリスマス会・ハロウィンイベント・体操・お誕生日会・施設交流・修了式							